

## 編集後記

「社会福祉学部紀要 第16号」をお届けいたします。本号では、2007年度から2009年度までの三年間、「〈重層的学生支援教育〉による福祉人材養成—学生の成長過程と専門教育課題の有機的結合による福祉人間力獲得をめざして—」というタイトルで助成を受けた「特色ある教育プログラム（特色GP）」関連の特集を組むことができました。本誌での特集は10号の「社会福祉実習教育の10年と今後の展望」以来、6年ぶりとなります。本特集に際して、学外の研究者の方々にご協力いただきました。まずは、このことを記し、深く感謝申し上げます。本号特集の加登田報告ではここ数年間の本学部の動きを、四本の書評では現行カリキュラムのもとに展開されている本学部開講講義の雰囲気を感じていただければ幸いです。また、本号の編集作業を進めるなかで、本学部の大石先生を中心に、本学での学生支援・学生相談に関わる取り組みの一つであるピアサポートシステム体制の整備に関する「小特集」として「ピアサポートシステムの構築に向けて—ピアサポーター養成のためのいくつかの実践を素材に一」が、組まれることになりました。

私自身、四号目の編集作業となりましたが、本号ではこれまでにない厳しい投稿エントリー状況での編集作業となり、ほとんど苦勞しました。その最大の要因は、年々、本学部教員の教育や管理運營業務負担が増大しており、研究に集中する時間の確保が困難になっていることがあげられます。それに加えて本年度は特色GPの副読本の執筆が重なったという事情もありました。しかしながら紀要を中心とした研究論文の執筆は本学部教員の教育研究活動の基盤です。これからの社会福祉学部を考えると、本紀要はどのようなかたちをとり、どのような可能性を開いていく必要があるのか、本号の編集作業を行いながら、そのようなことを考えてしまいました。次号では、本学部構成員のみなさんの研究が本誌に投稿されるよう、強く祈念しております。（中村記）

---

## 山口県立大学社会福祉学部紀要 第16号

---

2010年3月20日発行

編集兼発行者 山口県立大学社会福祉学部

編集委員長 教授 中村文哉

編集委員 学部長 田中耕太郎

教授 加登田恵子

〃 高野和良

(2009年9月31日まで)

准教授 大石由起子

制作 隣報社オフリン印刷株式会社

山口市小郡下郷2410番地

---

発行所 山口県立大学社会福祉学部

山口市桜島3丁目2-1

TEL 083 (928) 0211

FAX 083 (928) 2251

---

